

『地域情報ブログ』で見た、保護者の地域教育力

Local information blog am visible Regional Society students' parents

宮内 盛一
Seiichi MIYAUCHI

北海道斜里郡斜里町立峰浜小学校
Hokkaido Shari-town Minehama Elementary School

学校サイトの活発化や、ブログによる児童の情報発信の広がりによって、保護者からの情報発信『地域情報ブログ』が立ち上がった。保護者によるブログでの情報発信が行われたことにより、異産業・異業種間の保護者の情報交換が行われたこと、山村留学検討者に保護者の視点での情報提供を行えたこと、ブログに対する理解が深まったこと、保護者以外の地域の方にも情報提供を呼びかけ、地域の特色を発信できたことなどの成果があった。

教育経営 小規模校 地域力 山村留学

1 はじめに

北海道斜里郡斜里町立峰浜小学校は、2005年に世界自然遺産に登録された、北海道東端、知床半島のつけ根に位置する全校児童 22 名（2007 年 4 月現在）の小規模校である。斜里町峰浜地域は知床連山、斜里平野、オホーツク海が交わり、斜里町内でも自然環境に特に恵まれている。

地域と学校が融合した活動も特徴である。峰浜自然愛護少年団では、33 年間、知床の自然を護る運動を全団員（全校児童）が続けている。さらに 13 年前より、都会から親子で一定の期間移住し、農漁村生活体験を行う「山村留学制度」も取り入れ、19 家族 29 名の児童を受け入れた。

校区には二つの自治会が存在し、峰浜自治会（58 世帯）、日の出自治会（15 世帯）のすべてが PTA 会員として学校を支えている。

主たる学校行事の一つである運動会は、前述の両自治会と、峰浜にある知的障害者更生施設日の出学園、斜里町立峰浜へき地保育所も共催し、合同運動会として地域の一大行事となっている。

このように、峰浜小学校は、地域の人たち

との結びつきが大変強く、地域全体で学校を支えているという意識が高い。

2 峰浜小学校サイト

2.1 沿革と斜里町内のコンピュータ配置の実態

2000 年より、山村留学家族の募集をねらいとして、峰浜小学校ふるさと留学推進協議会が、立ち上げたサイトが、学校サイトの前身である。これは斜里町役場内の商工観光課サイト内に同居する形で設けられ、当時の峰浜小学校ふるさと留学推進協議会事務局が管理を行っていた。

一方、斜里町内の各学校の教職員で構成する、斜里町コンピュータ教育開発センター（S-CEDC）が 1990 年に開設され、各学校に、始めてコンピュータが設置された。しかし、機種の問題やインターネット接続環境が整備されていなかったため、インターネット環境にある学校はなかった。

町内のほとんどの学校にコンピュータが配置され、インターネット接続がなされたのは、2000 年秋であった。これにより S-CEDC では、学校サイトの開設を推奨したため、町内の学校でサイトを立ち上げる学校が現われた。

峰浜小学校では、2001年の年度当初に、学校サイト設立が話し合われ、準備期間の後9月1日に新規開設がなされた。その後、前述のふるさと留学推進協議会のサイトを移管し、現在の形が形成された。

開設当初は月に2回の更新と、主たる行事の紹介ページ、各月の行事予定、児童の学習成果の掲載が開設当初の主な内容であった。

2.2 学校ブログの開設

当初は5MBで始まった峰浜小学校サイトであるが、年を経る事に内容が蓄積され、サーバ容量が不足した。これに伴い、一定期間が経過した情報については随時削除を行っていたが、過去の情報の蓄積の重要性を考え、サーバ容量の増量を数回行った。しかし、増量に伴い、出費を伴うことから、無料のブログを契約し、2005年9月に峰浜小学校ブログ日記(学校ブログ)を開設した。

2.3 J-KIDS 大賞の入賞

2004年3月に、サイト開設を担当した職員が転出したことにより、一時更新が滞った時があったが、2004年9月より更新を再開した。2005年4月より、サイトの見直しや本格的な更新を行ったところ、2005年度のJ-KIDS大賞2005において、経済産業大臣賞に選考された。

2.4 ブログを活用した、子ども達による情報発信

J-KIDS大賞入賞をきっかけに、知り合った東京の小学校が、本校と同様の鮭稚魚飼育観察を行っていることを知り、ブログ上での交流が始まった。この交流は、本校の代表児童が東京へ行き、直接交流し、鮭稚魚と一緒に放流するという体験につながった。鮭稚魚の飼育観察をブログ上で行い、記事やコメントを通じて様々な人たちと広く交流することができた。

2.5 校外活動としての子ども達によるブ

ログの開設

J-KIDS大賞やその他の入賞により、子ども達の情報発信への意欲が高まる一方、期間や内容が限定されている鮭稚魚飼育観察のブログは放流とともに終了した。

ブログを通じた交流を続けたい児童と、それを支援する地域の保護者により、2006年5月に『みんなのブログ』が開設された。これは地域の環境に進んでかわり、気づきを深めるために有効で、さらに、課外活動として自分たちで環境に関わる研究を深めている。

3 『地域情報ブログ』の開設

3.1 『地域情報ブログ』の目的

地域に住み、地域で働くという視点から学校を応援するという立場で発信することを目的とし、2006年5月に『地域情報ブログ』を開設した。

リアルタイムに発信できるというブログの利点を活用し、山村留学を考えている峰浜小学校の潜在的利用者の人たちへ、地域の良さを知ってもらおうということや、コメント欄を活用した事前の情報交換ができるであろうと考えたからである。

さらに、子ども達も学んでいる情報リテラシーについて、保護者にも体験的に理解を深めてもらうことも目的とした。

地域の保護者のほとんどは、自然の中で働く職業に就いている。峰浜にしかない、峰浜でしかできないことを充分理解している。ありのままの地域の姿を地域に住む保護者の視点から、見たこと、感じたこと、知らせたいことを、ブログを通じて、閲覧者に伝えることにより、地域の良さ、学校の良さにあらためて気づいてもらうことが、大切であると考えた。

3.2 『地域情報ブログ』への参画

2007年4月現在の児童数は22名。学校に児童を通わせている家庭(有児戸数)は13戸と、極小規模の学校であるが、『地域情報ブ

ログ』に直接関わる保護者は4戸6名を数える。学校サイト開設当初は閲覧者だった保護者達が、各種コンテストへの入賞がきっかけで、WEBへの関心が高まった。さらに『地域情報ブログ』への参加により、自らが学校サイトを応援し、支えるという立場へと転換したのである。

3.3 異業種間の交流

峰浜の主産業は農業、漁業である。同じ地域に住んでいる者でも、自治会以外は、異業種間の交流はほとんどなかった。それが、学校や保育所を通して、保護者同士が横の関係を深め、さらに、異業種間の保護者がブログに参画することによって、お互いの産業についてあらためて知るきっかけとなり、理解が深まった。

3.4 山村留学検討者への情報提供

山村留学を検討している保護者にとっては、地域コミュニティの情報は一番知りたい情報の一つである。学校サイトで得た情報、児童による情報発信によって得た情報、さらに保護者による情報発信によって得た情報と、事前に多くの情報を収集することが可能であり、多角的に情報を得ることができる。これにより、峰浜小学校への山村留学希望者が増えた。さらに、下見なしでの山村留学希望者が現われた。選択理由は、学校サイトを中心としたインターネットによる事前情報を収集した結果であった。

3.5 学校サイト全体への理解の深化

地域保護者が『地域情報ブログ』を運営することにより、保護者自身が学校サイトへの理解を深め、さらに、児童自らの情報発信への関心が高まった。これは、今までインターネット環境になかった家庭で、回線を新設するなどの効果として表れた。

3.6 保護者以外の方による情報提供

保護者以外の方々にも情報提供を呼びかけ、それぞれに特色ある情報が集まった。茨城県在住の方によるイラストの提供、地域の方によるヒグマの写真の提供など、峰浜小学校を支えようとする立場の方が表れ、関心が高まった。

4 まとめ

学校サイトの充実が、児童の情報発信への関心を高め、さらに保護者へも広まった。学校自らが広く日常を知らせることにより、保護者同士がつながり、学校の社会関係資本を高め、さらに『地域情報ブログ』が、保護者の地域教育力を高めたということがわかった。